

# 明るく生き生きとした 弟子屈町をつくるため

平成24年第1回町議会定例会が3月6日から9日まで開かれ、平成24年度予算案などが審議されました。

徳永町長が行った町政執行方針と、小林教育長の教育行政方針の概要、平成24年度の予算と事業の概要をお知らせします。



平成24年度町政執行方針  
町長 徳永 哲雄

**互いに手を取り  
助け合いながら  
難局を乗り越えたい**

私にとつて、本年は1つの節目の年と考えています。町政をお預かりして11年が経過し、3期の4年目を迎えたこと、また、第5次の総合計画がスタートする年でもあります。そのような中、町民の皆さんからの町に対する期待は大変大きいものと自覚していますが、この厳しい時代を何とか乗り越えるため、互いに

手を取り、助け合いながら難局を乗り越えていきたいと思っています。同時に、今後もさまざまな問題や懸案事項など課題もあることとは思いますが、議員各位のご理解と町民の皆さんのご協力により町政を進めていきたいと考えていますので、引き続きよろしくお願ひします。

## 環 人と自然が共生する

### 自然環境の保全と活用

▼北海道立総合研究機構・北海道大学などとの連携による摩周湖周辺の大気汚染調査・森林への影響調査の継続。  
▼児童生徒に対する環境学習の機会の創出。



川湯中学校で行われた環境学習



屈斜路湖の魚類資源の保護を

## 活 まちに活力・活気・雇用を生み出す

▼「雪氷冷熱エネルギー」を活用した、新しい学校給食センターの補助冷房システムの工事。  
▼太陽光発電システム設置費に対する助成の継続。  
▼「自然再生可能エネルギー」の活用推進。  
▼「観光と農業を柱とした地域活性化の推進」  
▼持続的発展につながる地域ブランドの開発。  
▼地産地消の推進。

▼産業間の密接な連携関係の構築によるさらなる農畜産物の利用や新たな製品の開発、6次産業への発展。  
▼TPP協定参加に対する反対。農協などとの連携による農業経営の維持・安定を図るための継続的な基盤整備。  
▼担い手や後継者問題、今後の農業生産のあり方などに対する対応。  
▼耕畜連携による域内自給飼料の確保に向けた取り組みの推進。  
▼搾乳牛の導入支援による生乳生産基盤の強化。  
▼家畜ふん尿の臭気対策(散布方法の検討など臭気低減に向けた取り組み・バイオガスプラントに関する調査検討)  
▼家畜伝染病の防疫対策。  
▼育成牛の周年預託事業の検討。

▼畑作における「戸別所得補償制度」継続の要望。  
▼新たな作物導入による経営形態の見直しや輪作体系の確立。  
▼摩周メロンや摩周そばなどのブランド化の推進。  
▼環境に配慮した土づくり。  
▼ワイン用ブドウの本格的な栽培。国営農地防災事業の早期着手に向けた要請。  
▼草地改良や農道整備などの道営土地改良事業の推進。  
▼第3期中山間地域等直接支払制度の継続実施。  
▼エゾシカによる農業被害対策への対応。  
▼国の新規就業総合支援事業などの有効活用、農業実習生の積極的受け入れによる、農業基盤整備と担い手確保。

▼町の森林施策計画に基づいた森づくりの推進。  
▼国の基金事業、森林整備加速化・林業再生事業などの活用による林業専用道整備や町有林造林事業の継続実施。  
▼「クアハウス屈斜路」の再利用。(木育体験・林業歴史資料の展示・地域住民の集会施設)  
▼商工会との連携による、町内消費の促進に向けた支援やPR。  
▼商工業と観光業との結びつきによる町内の循環型経済の活性化の推進。  
▼中小企業振興融資制度や企業振興促進条例を効果的に活用してもらうための周知活動。  
▼温泉と医療が結びついた「あたらしい湯治」の商品開発による閑散期の集客対策の促進。



上から、特産の摩周メロン、シカ柵、町ぐるみで行われた花いっぱい運動

## 暮 誰もが安心して暮らせる

▼特定健診をはじめ各種がん検診などの受診率の向上。  
▼保健指導や健康教室の開催。  
▼インフルエンザワクチンの一部助成。  
▼ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン、

▼資格取得支援制度や国が進める緊急雇用創出推進事業、町単独の雇用対策事業などによる、観光・農業・土木・福祉・教育分野などでの離職者の雇用の促進。  
▼企業振興促進条例に基づく各種支援。  
▼本町にふさわしい企業の誘致。

▼「町民宿泊促進支援事業」の継続実施。  
▼街並み景観を考えた花いっぱい運動の継続促進。  
▼「てしかがえこまち推進協議会」への町民参加促進と、同協議会による観光の活性化を図るための活動の継続。  
▼観光協会や旅館組合の体質改善と担い手の育成の促進。  
▼道の駅摩周温泉への公園を整備。  
▼観光客の市街地誘導による商店街の賑わいや活性化。  
▼道の駅における町内農産物の通年販売に向けた農協や生産者との協議。

- ▼子宮頸(けい)がんワクチンの接種費用の全額公費負担。
- ▼妊婦健診費用の全額助成の継続。
- ▼相談・訪問支援、マタニティ教室などの充実。
- ▼幼児への虐待防止や心身の発達に課題のある子どもの療育支援。
- ▼小学生の通院医療費をポイント制にして町内消費限定商品券に交換できる「子育て応援医療費還元事業」の実施。
- ▼摩周厚生病院の運営に対する助成と、救急医療体制維持に対する支援の継続。
- ▼ドクターヘリなどを活用した釧路広域救急医療との連携。
- ▼川湯地区で新築移転が進む医療機関に対する借入金の子補給。



摩周厚生病院を支援

- ▼町立川湯歯科診療所の機器整備。
- ▼高齢者に対する各種サービスの一体的提供と、孤立死防止のための関係機関との連携。
- ▼高齢者世帯に対する福祉灯油や水道料金、バス・ハイヤー料金助成の継続。
- ▼介護保険法などに基づく訪問介護事業所(ヘルパー事業)の社会福祉協議会への移管と、同協議会に対する財政面の支援。
- ▼「第5期介護保険事業計画」第3期弟子屈町障がい福祉計画に沿ったサービス提供と、社会的弱者の支援。
- ▼老人ホームの移転改築に係る準備調査業務の実施。
- ▼障害者自立支援法などに基づく各種サービスの促進による障がい者の自立支援。
- ▼障がい者に対する相談支援事業の充実。
- ▼こども発達支援センターにおける、個別計画に基づいた指導と支援の提供。
- ▼保育園や放課後児童クラブの機能の充実。
- ▼子育て支援センターでの就園前の親子に対する交流の場の提供と、子育ての不安や悩みの早期解消。
- ▼放射線簡易測定器の導入など体制が整備される学校給食センターとの連携による、安全・安心な保育園給食の提供。
- ▼中学校における新学習指導要領に即応した教育推進。
- ▼小学校における各教科などでの言語活動の充実。
- ▼外国語指導助手の増員配置。
- ▼新給食センターによる、より一層安全で安心な給食の提供。
- ▼北海道弟子屈高等学校の存続に係る関係機関への働きかけ。
- ▼より一層充実した生涯学習機会の提供と学習相談などの実施。
- ▼青少年の家庭学習や生活習慣の改善などに係る、学校、家庭、地域が連携した体制づくり。
- ▼町民が芸術、文化に触れる機会の充実と活動への支援。
- ▼屈斜路コタンアイヌ民俗資料館
- ▼石綿管・老朽管の取り替えやメーター器の交換、管路図の電子化に向けた各種データの整理などによる上水道管理体制の整備。
- ▼安全・安心な水道水の供給。
- ▼老朽管など設備の更新による、温泉の安定供給。
- ▼鈴蘭・泉地区の下水道工事。
- ▼川湯・美留和地区の下水道整備の検討。
- ▼「弟子屈町公園施設長寿命化計画」の策定。
- ▼川湯地区の地籍調査事業継続と、オソツベツ地区の調査。
- ▼「弟子屈町公営住宅ストック総合活用計画」「弟子屈町公営住宅長寿命化計画」に基づいた町営住宅の建て替えと既存施設の長寿命化改修。



安全・安心な保育園の給食

## 育 豊かな心を育て、文化を大切に

▼学校、家庭、地域社会との連携による、子どもたちが充実した学校生活を送ることができるまなびの環境づくり。



充実した学校生活のために

## 平成24年度 予算のポイント

24年度予算は、一般会計では総額69億3千200万円で前年度比2.2%の減、国民健康保険特別会計など特別会計では合計額が26億6千41万7千円で前年度比0.5%の減となっています。国から示された地方財政計画により本町の歳入を推計すると、町税や地方交付税、臨時財政対策債などの一般財源は、前年度より若干の減額を見込んでいます。

今後も、老朽化した施設の改修や燃料費などの高騰、扶助費の増加などによる支出の増が予想され、人口の減少や高齢化の進行などにより歳入の増加が難しいことから、財政の硬直化が危惧される状況となっています。特徴的でメリハリのある投資的経費の財源を捻出し、魅力あるまちづくりを進めるためには、さらなる事務事業の見直しを進める必要があると考え、総合計画と連動した事務事業区分での予算編成などを本年度からスタートさせることにしました。



みんなでスポーツを楽しめるように

## 政 サービス向上を目指して

- ▼現行の総合行政情報システムのうち、13のシステムをデータセンター、セキュリティに強い自治体専用回線を活用した総合行政クラウドによる共同システムへ移行運用。
- ▼白糠町・釧路町との共同化による戸籍事務の電算化。
- ▼町税の滞納整理。
- ▼釧路・根室広域地方税滞納整理機構との連携強化による、滞納累積額の縮減。

平成24年度は私の3期目の最終年です。町民の皆さんとともに進めてきた住みよいまち弟子屈町、幸せな町へのチャレンジの取り組みの集大成となります。未来に向けてより持続的な発展を成し遂げるため、力いっぱい取り組んでいきます。災害不安や経済の低迷など、閉塞(へいそく)感が漂う社会情勢が続きますが、町民の皆さんが明るく生き生きとした弟子屈町をつくるため、本町の特性である自然環境の保全と活用、産業の活性化、暮らしの向上、学校教育や文化活動の推進、人材の育成や公共活動などに取り組み第5次弟子屈町総合計画をしっかりと実行していきます。



旗の波による交通安全啓発運動

- ▼町道維持管理の徹底と冬期除雪の効率化。
- ▼美留和地区の町道石狩別川沿2号線の改良・舗装工事と、川湯跡佐登地区の防雪柵設置工事の継続。
- ▼雪寒交付金を活用したミニロータリ車の更新。
- ▼歩道の一部区間の除雪の民間委託。
- ▼現行バス運行路線の維持。
- ▼環境にやさしい観光交通実証運行事業の実施(町単独事業)
- ▼都市計画道路全路線における車線数の決定と幅員の見直し。
- ▼国道や道道における、必要に応じた要望活動の実施。
- ▼交通安全活動・交通安全教育などの実施。